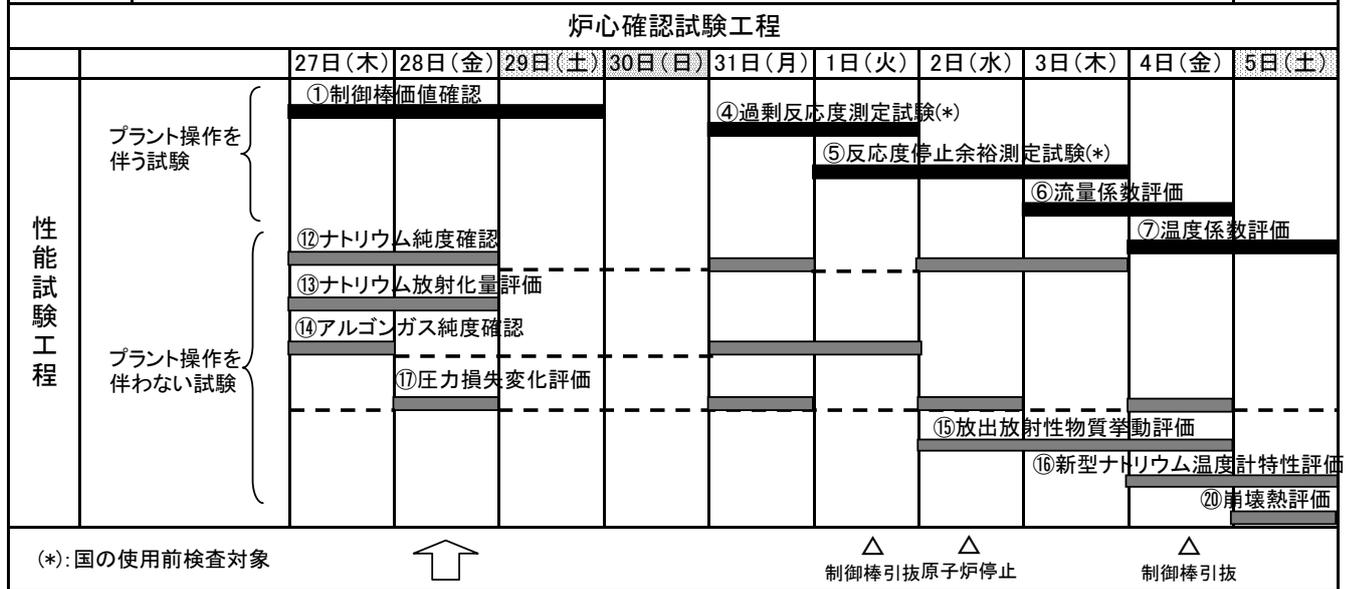


高速増殖原型炉もんじゅ 性能試験(炉心確認試験)  
 実施状況

13:00現在

概要	制御棒価値確認試験を安全に実施し、制御棒を全挿入して原子炉を停止した。 ナトリウム純度確認等を安全に実施している。		
プラント 状態	異常なし。 1次主冷却系流量 約49%(主モータ運転)      1次主冷却系温度 約200℃ 2次主冷却系流量 約7%(ポニーモータ運転)      2次主冷却系温度 約200℃		備考
性能試験 実施状況	<p>【昨日(5/27)の実績】</p> 10:08 アルゴンガス純度確認開始 14:15 アルゴンガス純度確認終了 17:08 ナトリウム純度確認終了 5:30 制御棒全挿入(未臨界) <p>【本日の実施状況】</p> 9:57 ナトリウム純度確認開始(17時頃終了予定) ナトリウム放射化量評価開始(17時頃終了予定) <p>【明日(5/29)の予定】</p> 原子炉停止後の原子炉容器カバーガス低圧モードへの移行		備考
その他	・気体廃棄物処理系の「ドレン排出用窒素ガス圧力低」警報の発報について(別添資料)		備考



平成 22 年 5 月 28 日

このお知らせは、国への報告対象トラブルではありませんが、炉心確認試験中に発生したものであり、参考までにお知らせするものです。

高速増殖原型炉もんじゅ気体廃棄物処理系の  
「ドレン排出用窒素ガス圧力低」警報の発報について（お知らせ）

1. 発生日時 : 平成 22 年 5 月 27 日（木） 22 時 55 分
2. 発生場所 : 高速増殖炉研究開発センター  
高速増殖原型炉もんじゅ 原子炉補助建物（管理区域）
3. 状 況 :

高速増殖原型炉もんじゅは、炉心確認試験を実施していますが、平成 22 年 5 月 27 日 22 時 55 分、「気体廃棄物処理系\*<sup>1</sup>異常」の警報が発報し、現場を確認したところ、気体廃棄物に含まれる水分を液体廃棄物処理系へ排出するための窒素ガス\*<sup>2</sup>配管の圧力が低下し、「ドレン排出用窒素ガス圧力低」の警報が発報しました（設定値：29kPa）。

その後の対応として、ドレン排出用窒素ガス配管の圧力を昇圧し（57kPa）、23時07分に警報をリセットしました。その後、警報は発報していません。

ドレン排出用窒素ガスの圧力低下の原因については、調査中です。

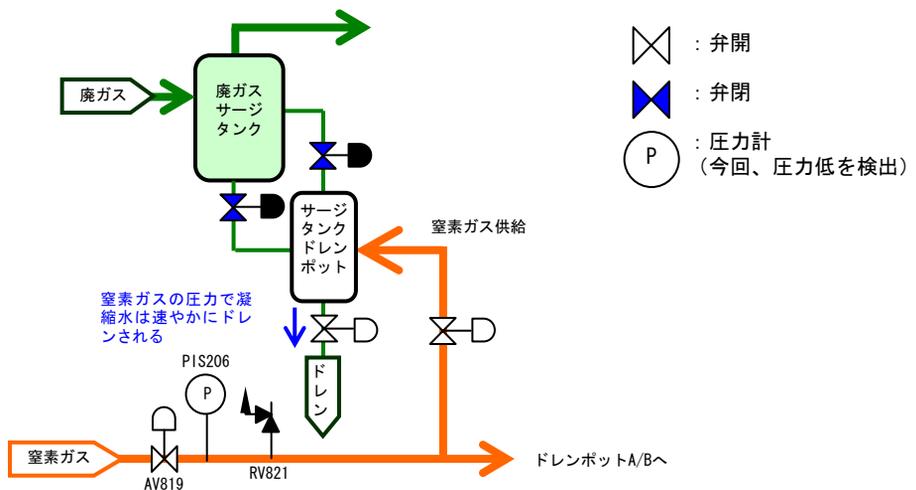
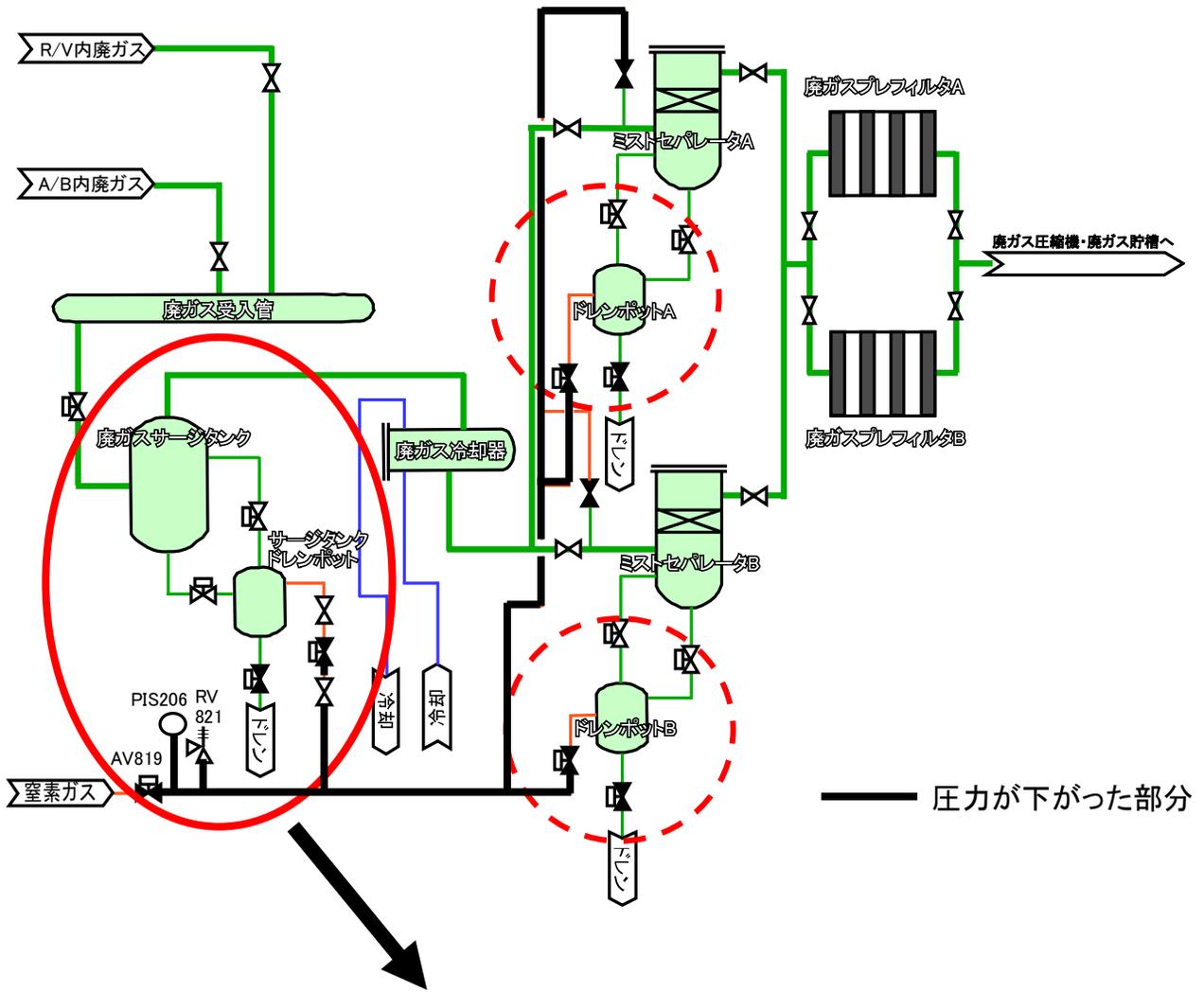
これによる環境及び炉心確認試験への影響はありません。

- \* 1 : 気体廃棄物処理系は、主に 1 次アルゴンガス系統と燃料取扱設備等からの気体を受入れ処理する設備です。各系統からの気体は、最初に廃ガスサージタンクに貯留され、その後、ミストセパレータに導かれます。
- \* 2 : 燃料取扱設備等からの気体に含まれる水分は、サージタンクドレンポット、ドレンポット A、B に溜まります。これらの水分は、窒素ガスの圧力により液体廃棄物処理系へ排出します。

添付図 : 気体廃棄物処理設備・廃ガスサージタンクドレンポット概略系統図

以 上

# 気体廃棄物処理設備・廃ガスサージタンクドレンポット概略系統図



**ドレン排出時**